

# 新年

## メールマガジンの執筆で想うこと

明けましておめでとうございます。

新年を迎え様々な想いをもってスタートされたことと思います。

メールマガジンでワンポイントアドバイスのことを、けあ人財アカデミー垣内代表と書き始め、皆様にお送りして足掛け8年になります。

私は松下電工（現パナソニック）で営業一筋に過ごした後、53歳で同社の介護事業に転身、63歳で退任、その後起業して15年、それぞれの場面で様々な経験、体験をしてきました。そうした経験談をワンポイントとしてまとめて、皆様にお送りし読んでいただければ、ちょっと壁にぶち当たった時や困った時、対処の仕方がもう一つ分からない時に、少しでもお役に立つのではないかと始めました。もう一つの書き始めた理由は、昔から文章を書くのが苦手と思うように表現できず、少しでも伝えたいことが上手く表現できればと思い、自身の勉強のためにもと考え、始めました。

おかげさまで少しは書けるようになり、この8年間一度も休むことなく発信し続けております。

メールマガジンをお送りしている方々は、20代前半から90歳超えた方まで幅広く4,000名以上の方々となりました。



幾人かの方々からお会いした時やメールでメルマガ読んで役にたっていますとか、毎号楽しみにしています、考えに共感しました、部下の指導に向き合い方に参考になりました等、様々なコメントをいただいて、とても励みになり嬉しく思っております。



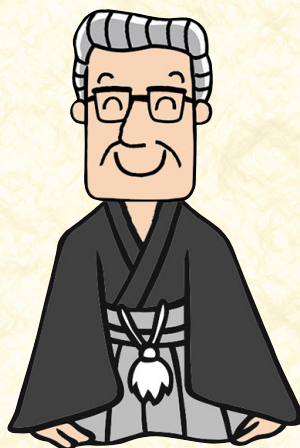
ネタ切れにならないか心配することもあります。ここ最近、出来るだけ身近で起こったこと、不愉快に感じたことや嬉しかったこと、感動したこと、もうちょっとこうしてくれたらいいのになあとか、接客・応対場面、コミュニケーション場面で感じたことを、素直に書くように努めています。

やはり実際に目の前で起こったことをありのままに書き、それに対してどうだったのか、どうした方がいいのか、このことをどう分かりやすく説明すれば良いのか等を考えて書きます。当初は500文字前後だったのが、最近では1500文字から2000文字近くになってしまい、読み疲れされるのではないかと心配しております。

「読売新聞編集手帳」や「朝日新聞天声人語」は伝えたいことを700～800文字で見事に表現されていますが、出来るだけ見習って、今年も日頃の出来事を中心に出来るだけ短い文章で皆さんのご負担にならないよう書いていきたいと思っております。時には熱が入って文字数が多くなるかもしれませんが、ご容赦ください。

「習うより慣れろ」という言葉があります。私の文章力はまだまだですが、「書くこと」を何とかしたいと思っている方がおられましたら是非書き始めてみてください。それなりに何とかなっていくと思いますので・・・すみません、長くなってしまいました!!

本年もご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。



長嶺 堅二郎